

カシワマイマイ

春～初夏にナラヤクリなど各種広葉樹の葉を食べる大形の毛虫（幼虫）。最大長約70mm。小さなときは黒く、背中が2カ所でオレンジ色。大きくなると体は茶色または灰色。頭部の両側と尾端には長い毛束がある。背中に茶色のコブガ2列に並ぶ。ナラヤクリに多い。時に多発する。



1. 若齢幼虫。1989/6/14。美唄市，クリ。



2. 老齢幼虫，体長29mm。1990/6/27。新得町，ミズナラ。



3. 雌成虫。1979/8。穂別町。

【学名】 *Lymantria mathura aurora*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， ドクガ科 (Lymantridae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州。別亜種が旧北区に分布。

【特徴】

幼虫は終齢で体長50～70mm。若齢幼虫は黒色，胸部3節（後胸）と腹部5節の背面はオレンジ色。幼虫が成長するに従い，オレンジ色の斑紋は不明瞭になる。中～終齢幼虫では，体は茶色～灰色で，尾端近くの背面が白っぽい。幼虫の前胸と尾端には長い毛束がある。

【生態】

宿主：ブナ科，バラ科，ハルニレなど。若齢幼虫をウダイカンバやアサダからも採集したが，これらの葉では飼育できなかった。

年1回発生，卵越冬．幼虫は5月に卵から孵えり，7月まで葉を食べて成長する．葉の間に糸をかけて蛹になる．蛹は8月に蛾（成虫）になる．成虫は8月に出現．雌成虫は卵を樹皮の裂け目の中にまとめて産み，鱗毛で覆う．

【被害と防除】

多発することはまれで，1～2年で終息している．食害による樹勢の低下や枯死は記録がない．森林では普通，防除は必要とされない．

庭木や街路樹で多発した例は知られていない．

【文献】

1958. 江崎悌三ほか. 原色日本蛾類図鑑（下）：I-V, 1-303, pls 65-136. 保育社，大阪.
1965. 一色周知，監修. 原色日本蛾類幼虫図鑑（上）：1-238, pls 1-60. 保育社，大阪.
1977. 小林富士雄. 緑化樹木の病害虫（下）害虫とその防除. 290pp. 日本林業技術協会，東京.
1977. 奥野孝夫，田中寛，木村裕. 原色樹木病害虫図鑑：I-VIII, 1-365, pls 1-64. 保育社，大阪.
1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社，東京.
1987. 杉敏郎，編集. 日本産蛾類生態図鑑：1-453, pls 1-120. 講談社，東京.
1994. 小泉力. カシワマイマイ. 小林富士雄，竹谷昭彦，編集，森林昆虫，総論・各論：283-284. 養賢堂，東京.（形態，生態，防除）

北海道立林業試験場・緑化樹センター

カシワマイマイ dokuga/kasiwama/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，1991/4/20-2001/4/12.
yochu1.jpg, yochu2.jpg

「写真1～2」原秀穂，北海道立林業試験場，1989-1990.
seichu1.jpg

「写真3」鈴木重孝，北海道立林業試験場，1979.